



明秀学園
日立高校
しらうめ会報

明秀学園日立高校同窓会
〒317-0064
茨城県日立市神峰町3丁目2番26号
電話 0294-21-6328
<http://www.meishu-dosokai.com/>

しらうめ会の新たな活動

同窓会長 神山 千恵子



この度、久しぶりに同窓会誌「しらうめ」を発行できることは、実に喜ばしいことであり、発行に尽力された会員の皆様には心からお礼を申し上げます。昨年、本会は創立90周年を記念して住所録の確認を行い、さらにホームページを開設し、最新情報をお知らせすると同時に、住所等会員情報の変更もweb上から可能となりました。また昨年は男女共学化し、明秀学園日立高等学校がスタートして20年目の節目の年でもありました。この年を機にしらうめ会の活動を活性化し、同窓生の結束をさらに固めようと会則の見直しを行い、本誌発行の準備を始めました。本年6月、同窓会総会で会則の改正が承認され、よりスムーズに母校の発展に寄与できるようになりました。そして今回

この度、久しぶりに同窓会誌「しらうめ」を発行できることは、実に喜ばしいことであり、発行に尽力された会員の皆様には心からお礼を申し上げます。昨年、本会は創立90周年を記念して住所録の確認を行い、さらにホームページを開設し、最新情報をお知らせすると同時に、住所等会員情報の変更もweb上から可能となりました。また昨年は男女共学化し、明秀学園日立高等学校がスタートして20年目の節目の年でもありました。この年を機にしらうめ会の活動を活性化し、同窓生の結束をさらに固めようと会則の見直しを行い、本誌発行の準備を始めました。本年6月、同窓会総会で会則の改正が承認され、よりスムーズに母校の発展に寄与できるようになりました。そして今回

さて、現在の母校をみると、私が通っていた時代と隔世の感があります。大学に進学する生徒が半数以上、進学率も80%を超え、難関大学へ進学する生徒も多数出てきたことは驚きでもありません。また、部活動が盛んであることは変わりませんが、男子の部活動が盛んになってきています。昨年サッカー部が選手権出場を果たしたこと、強豪校と対戦し、初戦突破したこととは忘れることができません。今年の選手権が楽しみです。また野球部が夏の県大会で昨年ベスト4、今年準優勝を果たしたことは、いやが上にも期待が高まります。伝統を受け継ぎ、新たな伝統を築いていく母校に同窓会として精一杯協力していきたいと決意を新たにしています。しらうめ会は今後、会員の皆様の交流を盛んにし、深めていきます。皆様の、これまでと変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

明秀学園日立高等学校同窓会ホームページをご存知ですか？

同窓生の皆さん、同窓会のホームページをご覧になったことはありますか？
明秀学園日立高等学校のホームページ「同窓会」から、同窓会のページに直接移動できます。同窓会ホームページでは新着情報の確認や住所変更ができるほか、同窓会報も掲載予定となっております。
同窓生が有効活用できるホームページを目指し、今後も更新していきたいと思っておりますので、「こういうコンテンツがあればいいのに」などのご意見があれば、ご連絡ください。



<http://meishu-dosokai.com/> にレッツアクセス!

「輝く明秀」を目指して

理事長 小野 勝久



学祖荒川まん先生によって創設された本校も、卒業生、保護者、教職員、地域の皆さまなど多くの関係者の温かいご支援やご協力により91年の歴史を紡いで現在に至っております。卒業生も2万数千人にのぼる実績を残しております。

卒業生は、各界各層の社会において大いに活躍されており、明秀の名をほしいままにしていることは喜びに堪えないところであります。

昨今、私学を取り巻く環境、特に少子化による影響は年を追うごとにその厳しさを増してきております。特に県北地域（常陸太田市を除く）における中学卒業生は平成28年3月2652人に対し、5年後の平成33年の卒業生は2282名と370人も激減する見込みです。10年前は3500人

の卒業生がいました。

この数字は、県北地区の県立高校が定員を減らさない限り全員県立高校入学が可能な数字になっております。明秀の特色を強く打ち出し、存在感をアピールしてこそ選ばれる明秀になるものと考えております。これに対応するため、平成25年を初年度とする5か年の行動計画を考え「アクションプランM2017」を作成し運動では甲子園や国立競技場出場、進学では難関国公立大学合格を目指す諸施策を推進しております。

その成果を考える上で大切なことは、本校で3年間学んだ学生の卒業時の感想であります。4年前の調査で、本学で学んで良かったという回答は66%であったのが今年の調査では89%と好印象をもって卒業してくれております。教職員の努力の賜物にほかなりません。面倒見の良さは、日常の生活ばかりでなく課外活動、カウンセラーなど学生生活すべてにわたって生徒ひとり一人へ

寄せる先生の愛情の関心にやるものと考えています。これからの明秀は、不透明社会にあつて、創立100周年にむけ着実にその歩みを進めていくため新たなアクションプランを作

原点に立ち返って

学校長 中原 明



昨年本校は創立90周年を迎え、これを機に校舎のリニューアル工事や記念式典の挙行など、新時代への旅立ちを決意しました。この節目の年に生徒たちは、進路では、東北大学をはじめとして国公立大学39名合格、部活動では、女子バスケットボール部のインターハイ、ウインターカップ

ベスト8、サッカー部の選手権初出場、初戦突破など、多くの部が全国で戦ってくれました。そして、未来へ旅立つ今年度のスタートには、同窓会から創立90周年を記念して寄贈された正門前の紅白梅が、396

成する予定です。

経営者の責任は「未来への創造」であると思っております。「チーム明秀」として力を合わせこの難局を乗り越え明るい未来へ布石を打つことでもあります。そ

名の新入生を迎えてくれました。白梅の精神を象徴するこの2本の梅は1065名になった全校生徒を見守り続けてくれることでしょう。未来に向けて飛び立つ本校を、同窓会員の皆様にはこれまでと変わらぬ温かい目で見守っていただけるようお願いいたします。

さて、今後の本校の教育のあり方についてお話しさせていただきます。女性の社会的地位の向上をめざし、社会で活躍する女性のための実学を教育の柱とした荒川まん先生の教育理念には「魁」「挑戦」「改革」という言葉がピッタリであると感じます。この精神を私たちは受け継ぎ、今後、社会を生き抜く「学力」を育てることを目指します。学力には「見える学力」と「見えない学力」

して永遠に「輝く明秀」を目指して参ります。同窓生の皆さまのご支援を心からお願いと共に来ますの御発展をお祈り申し上げます。

があると言えればわかりたいだけだと思いますが、成績や偏差値、合否など見える学力は確かに重要ですが、学校の評価を決める重要な要素であります。しかし、真に必要な学問は、学んだことをもとに状況を判断し、的確な行動をとる助けとなる物です。同じことを学んだとしても、現実生活に生かされない学問になつてしまえばそれは「見える学力」でしかないと思はれます。今後、さらに社会に有為の人物を輩出し続けるために我々は努力を惜しみません。今後とも皆様の温かいご理解とご支援をお願い致します。

役員一覧

役職	氏名	卒年
会長	神山 千恵子	昭和 49 年卒業
副会長	沼田 真也	平成 14 年卒業
〃	鹿野 和隆	平成 14 年卒業
幹事長	梶山 邦子	昭和 36 年卒業
書記	鈴木 ひろ子	昭和 52 年卒業
〃	藤田 祐也	平成 14 年卒業
会計	丹治 慶子	昭和 53 年卒業
〃	田中 敏子	昭和 40 年卒業
会計監査	久保 友美	平成 12 年卒業
〃	中庭 砂智子	昭和 45 年卒業
校内係	根本 光子	昭和 54 年卒業
〃	後藤 朋幸	平成 13 年卒業

同窓会御案内

本校の現在の同窓会活動につきましましては、晃耀祭（文化祭）への協力、郊外研修、年に一度の常任幹事会、卒業式前日に行われる同窓会入会式などがあります。また、卒業生の皆様が懐かしい同級生との再会をする場合の同窓会を開催する場合は、同窓会本部より 3000 円を補助させていただきます。同窓会の開催の折には、是非ご活用ください。

本校の同窓会の活動も様変わりしてきています。現状であります。昨年は、サツ

カー部が創部以来の悲願である冬の選手権に出場となりましたので、同窓会としてもしっかりと資金面での援助や応援バスツアーの企画、協力などをいたしました。また、夏の高校野球では惜しくも決勝戦で霞ヶ浦高校に惜敗しましたが、野球に關しても応援に参加して下さる卒業生の方が増えていきます。今後は、他の部活動も精力的に活動してまいりますので皆様には会場に足を向けて、応援していただければ幸いです。これから、母校の活動に参加していただきますよう宜しくお願いいたします。

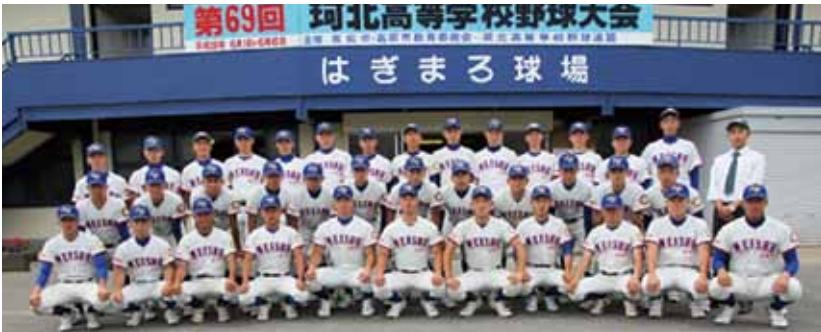
活躍する部活動

野球部

これまでの野球部
これからの野球部

野球部長 神永 豊

最近3年間の野球部の結果をみてみますと春・夏・秋の9大会中、優勝1回、準優勝3回、ベスト4 1回、ベスト8 1回、そして関東大会3回出場と素晴らしい結果を出しています。これらの成果を生み出



す原動力は金沢野球の徹底といつてよいでしょう。金沢成奉監督は「野球を通して人間教育を行う」という高い志を持ち、生徒に「人生の生き抜く力を身につけさせる」ことを旨として指導します。これが明秀の躍進を支えているのです。

私が金沢野球をみて驚いたことは、懐の深さです。高校野球ではグラウンドを全力疾走するものですが、我々は30年前、「グラウンドに出たら何でもかんでも走るんだ。」とだけ教えられました。金沢監督は「試合中、選手がベンチに戻る時、また、グラウンドで守備につく時、選手全員全力で走ること、試合中、相手に時間を与えない、そしてこちらの時間を有意義に使うためである。」と教えます。そして、日頃の練習でも全力で走ることが試合を有利に進めることにつながることを教えます。全てに理由があるという金沢野球の骨子はこのようなことからうかがい知ることが出来ます。このような金沢野球では、日頃の練習は全て「甲子園で、どう勝ち抜くのか。」という目的で構成されているので一つ一つの練

習の重みが違います。本当の景色を知っている監督だからこそできる指導といえるでしょう。金沢野球を学びたいと選手が集う理由がよく解ります。まだ、本校野球部は甲子園の景色を見ていません。しかし、近い将来必ず甲子園に行くはず

です。最後になりますが、来年、細川成也君が本校からプロ野球選手になります。近い将来一軍で活躍してくれることでしょう。卒業生の皆様には、これからも暖かい応援とご支援の程宜しくお願ひします。

サッカー部

挑戦する姿勢を自らが示す
(改善・開拓・発見を追及する)

萬場 努

「自分の発想で行動し、自分自身の可能性に挑戦する。」私がサッカー部顧問として、また教師として生徒へ掲げる理想です。サッカーというスポーツは選手を一度ピッチに送り出してしまえば、あとは選手自らが「何が最善策なのか」を判断しプレイしなければなりません。社会生活で求められる問題解決能力を、高校生活の中で身につけさせたいと考えております。就任

以降、私は基本的な生活習慣を徹底することから始めました。選手として高いレベルに到達するためには、まず高校生としてしっかりと生活を送ることが大切であると考えるためです。挨拶をきちんとすること、時間を守ること、毎日自分の練習を振り返ること、整頓すること、ユニフォームをきちんと着ること、これらの基本を徹底することは想像以上に難しく、妥協しそうな自分との根競べでした。創部20年目、チームを率いて9年目で悲願の選手権県予選初優勝を飾ることができました。結果が



出た事以上に、試合に出た選手をはじめ、ベンチにいた選手や応援席の部員、運営の補助をしていた部員など、全員がその時すべきことを自分で判断して行動していた姿を見られたことが何より嬉しかったです。理想に向けて前進している事が確信できた瞬間でした。部活動での成果を生かし、私はこれからも生徒と一緒に目標を達成していきたいです。「挑戦する姿を示し続ける。」これが私の教師としての理想です。

**■女子バスケット部
卒業生の皆様へ**

女子バスケット部活動報告、

監督 筑波 大

この場をお借りいたしました。同窓生の皆様に近年の女子バスケットボール部の活動についてご報告させていただきます。

まず、平成26、27年度と2年連続でインターハイ、ウィンターカップへの出場を果たすことができました。特に27年度はインターハイ、ウィンターカップともに全国ベスト8に入ることで、女子バスケットボール部の新たな歴史を刻むことができました。京都で行われた近畿インターハ

イには前監督の渡辺哲也先生も応援に駆けつけてくださり、本校初のインターハイベスト8を心から祝福してくださいました。また関東大会においても毎年連続出場は続いており、27年度には関東第3位の成績をおさめることができました。これも卒業生の方々が毎年、毎年、積み重ねてくださった伝統の力によるものだといふより感謝しております。

今年度は惜しくもインターハイ出場を逃しましたが、来年の出場に向け、毎日練習に励んでおりますので応援宜しくお願い申し上げます。

私も本校に勤務し、監督として18年目を迎えました。最初の頃は本当に手探りで試行錯誤の繰り返しだったチームづくりも、最近はその指導にもそれなりに手応えを感じはじめ、現状に満足せずにより高みを目指しております。そして、「伝統の継承」とは現状を維持することではなく、常に変革と進化をし続けていくことで積み重なるものだと考えております。

今後、平成31年には茨城国体、32年には東京オリン

ピックを迎えます。日本バスケットボール界もまた大きな変革の時を迎え、日本初のプロリーグ「Bリーグ」も発足しました。バスケットボールへの関心が高まり、注目されていく中で、本校もより高いレベルで高校バスケットボールを盛り上げていきたいと考えております。卒業生の皆様におかれましても、WJBLリーグ、実業団、大学、クラブチーム、また指導者や審判員として、あらゆるカテゴリーでご活躍されていることが私や現役選手の何よりの励みになります。現役、卒業生ともに心を一



に応援し合いながら、バスケットボールを盛り上げていきたいと思います。

**■ゴルフ部
新たな伝統に向かって**

高 樋 倫

平成26年4月に、女子ゴルフ部が創部されました。現在の部員は、3年生3名、2年生5名、1年生2名です。スタッフは、顧問兼監督の高樋と、水城高校OBであるコーチの小林、さらに、全国高校ゴルフ選手権で6度の優勝を成し遂げた元水城高等学校ゴルフ部監督の石井先生を今年4月に、総監督に迎えました。ゴルフという競技はプロとアマの垣根が低く、つい最近も茨城県の高校3年生が、日本女子オープンという大会で優勝しました。実力があればプロの試合に出場でき、勝つことができるのです。

試合結果については、平成26年度は関東高等学校ゴルフ選手権で初出場ながら団体10位、個人では1名が全国大会に出場しました。平成27年度は、個人で1名が全国大会に出場し、3位になりました。一般の大会でも日本女子アマゴルフ、日本女子オープンにも出場

しました。今年度も、個人で2名が全国大会に出場しました。日本女子アマゴルフ、日本女子オープンにも出場しました。岩手国体にも茨城と福島代表で2名の部員が出場しました。まだまだ、歴史の浅い部活ですが、明秀学園日立高等学校の一員として、学園の発展に貢献できればと思っています。



卓球部

卓球部活動報告

卓球部顧問 芦間雄太

卓球部はおかげさまで今年度も全国高校総体茨城県大会で優勝し、3年連続男女アベックでインターハイに出場することができました。全国の学校を見ても毎年男女でインターハイに出場している学校はわずかしかなりません。このように男女共に県の代表を勝ち取る事ができるのも学校関係者の方々や卒業生の皆さまのご理解とご協力があつ

てこそだと感じております。

現在、卓球部は男子17名、女子16名、計33名で活動しています。私が子供たちを指導していくうえで大事にしている事は「やり抜く力」の育成です。「やり抜く」という事はとてもシンドルな事ですが実際にはすごく難しい事です。毎日ある練習で常に自分のベストに挑戦する。自分自身と向き合い、自分やチームで目標を設定する。目標に到達するまで試行錯誤を繰り返し達成する。この達成までの思考力や忍耐力が、高校を卒業してからの社会に生きて



くるのではないかと思っております。

そして、子供たちの成長が学校の発展や地域社会の活性化にも貢献できるように卓球を通して指導していきたいと考えております。

ダンス部

身体表現を究める

松下 仁美

ダンス部の活動が再開して4年目となりました。ダンス部の創部当初はダンスという表現方法に抵抗が強い生徒が多かったことを覚えております。今では、生徒を中心にダンスの振り付けを行うまでに成熟した集団となりました。現在は25名の生徒が所属する小さな集団ですが、地域のイベントや学校行事の際にダンスを披露する機会をいただいております。その度に、生徒たちが自信をつけ、生き生きと踊る様子に成長を感じております。インターネットやスマートフォンを介してのコミュニケーションが主流となつている現代の子どもたちにとって、表情も含め、身体全体で「表現する」ことは重要な意義があります。今後も生徒の成長の場、また輝ける場として、活動を活発にしていきたいです。

す。今後の目標はコンクールに参加し、上位入賞を目指します。会場にて、またはインターネットの動画投稿サイトにて本校ダンス部のダンスをご覧いただけます。今後ご声援をお願い致します。



吹奏楽部

卒業生の皆様へ

全てに感謝、日々進化

菅田 真文

吹奏楽部はお陰様で創部8年目を迎えました。今年度は3年生8名、2年生8名、1年生28名、計44名で「全てに感謝、日々進化」をモットーに毎日明るく元気に活動しています。

昨年度、今年度と吹奏楽コンクールにおいて、地区大会1位通過、県大会金賞受賞、県代表として東関東吹奏楽コンクールに出場、2年連続で銀賞を受賞しました。また、定期演奏会も今年度で4回目を数え、来年度は記念すべき5回目を迎えることになりました。生徒たちにとって、高校時代に学業と部活動の両立を行うことは、今後社会に出ていく上で必要とされるコミュニケーション能力や適応能力、一つの目標に向かって努力することの大切さ等を学ぶ絶好の機会であると考えています。

これからも吹奏楽部は、多くの方々に支えられていることを忘れず、感謝の気持ちを持ち、地域社会に貢献していきけます。機会がありましたら、吹奏楽部の演奏をお聴きいただければ幸いです。今後とも、明秀学園日立高等学校吹奏楽部をよろしく願っています。



学校紹介

本校コース制の紹介

主幹教諭・生徒募集部長
塙 定之

1996年(平成8年度)4月、創立71年目に本校は校名を明秀学園日立高等学校に変更し男女共学に踏み切りました。当初は進学・教養・体育・情報コースの4コース制でスタート。その後、何度かコース変更が行われ、男女共学化12年目の2007年(平成19年度)、進学・体育・情報コースを廃止して全校特進化に踏み切り、特進S・A・Bコースの3コース制に。翌年2008年(平成20年度)には特進STコースを新設し、現在の特進ST・S・A・Bコースの4コース制となりました。

す。現在、各学年それぞれ2クラスずつあり、1年生は特進STコース66名、特進Sコース60名の過去最高126名が入学し、毎年増加の一途をたどっています。

特進A・Bコースは1クラス40名、1日7時間授業、自己探求課外の導入により、進路決定に向けて必要な実力を身につけつつ、自分のやりたいことを徹底的に追求して進路決定に結びつけるコースです。自己探求課外は土曜日を含めて週6時間設定されており、部活動に入部している生徒はその種目を選択。それ以外の生徒は進路・スポーツ・芸術・教養の4つのジャンルから自分のやりたい講座を選択し、興味関心を広げつつ、自分のやりたいことをとことん追求。3年後の進路決定のために役立てています。現在2・3年生は特進Aコースが4クラスずつ、特進Bコースが2クラスずつ、1年生は特進Aコースに5クラス(195名)、特進Bコースには2クラス(75名)が入学しています。

年後の2015年度(平成27年度)には60%に倍増。国立合格者数も飛躍的に伸び続け、この10年間で12名から39名と3倍以上に。2009年度(平成20年度)に筑波大学合格を出して以降、2011年度(平成23年度)福島県立医科大学医学科合格、2013年度(平成25年度)大阪大学合格、2015年度(平成27年度)東北大学合格と着実に実績を上げてきており、2016年度(平成28年度)は国立大学合格者数が50名を上回りそうな勢いです。

部活動の活躍も目覚ましく、2015年度(平成27年度)にはサッカー部のインターハイ、選手権出場を筆頭に、5つの部活動がインターハイに出場。吹奏楽部も東関東大会出場し、文武両道を実現しています。

国立合格者数・大学進学率の向上と部活動の活躍に比例して、毎年の入学者数も安定してきており、少子化で生徒数が減少している中、2014年度(平成26年度)355名、2015年度(平成27年度)351名、2016年度(平成28年度)396名と安定した

学校校舎紹介

入学者数となっています。ここ数年は8割以上とる学業優秀な生徒が本校を第1志望にするようになり、「県立入試に失敗したら行く学校」から「県立よりも入学したい学校」へと変貌しつつあります。



昭和41年 第3期工事本館増築



昭和11年 校舎増改築



平成11年 有鄰館竣工



昭和38年 校舎全景

大学合格状況

進路状況にしましては、大学合格者数を着実に伸ばしております。毎年、国立大学への合格、難関私立大学への合格を勝ち取っています。国立大学にしましては、昨年度は本校初の東北大学への合格者がでました。私立大学にしましては、特別提携校の二松学舎大学を始め、法政大学、中央大学や東洋大学、日本大学、

東京電機大学等に進学しています。昨年度の大学への進学率も約60%に達しております。就職にしましては、2年連続で100%の内定者となっております。今後とも、進路実績を積み上げていきたいと思っておりますので、何卒同窓生の皆様にもご支援ご協力の程宜しくお願い致します。

Table with 7 columns: 国公立大学, 22年度, 23年度, 24年度, 25年度, 26年度, 27年度. Rows include 東北大学, 大阪大学, 筑波大学, etc.

Table with 7 columns: 国公立大学, 22年度, 23年度, 24年度, 25年度, 26年度, 27年度. Rows include 茨城県立医療大学, 首都大学東京, 横浜市立大学, etc.

Table with 7 columns: 私立大学, 22年度, 23年度, 24年度, 25年度, 26年度, 27年度. Rows include 二松学舎大学, 愛知学院大学, 青山学院大学, etc.

Table with 7 columns: 私立大学, 22年度, 23年度, 24年度, 25年度, 26年度, 27年度. Rows include 中部学院大学, 筑波学院大学, つくば国際大学, etc.

私立大学 合計 120名 153名 217名 178名 257名 283名

活躍する在校生

3年 細川 成也

私がプロ野球選手を目指し始めたのは、小学校3年生の時です。父親が野球をやっていたことがきっかけとなり、自分も始めました。私が初めて所属したのは、地元の北茨城リトルリーグでピッチャーと外野手の二つのポジションを担当しました。中学高時代はいわきシニアリーグに入りました。そこでは、外野手のみを担当していたのですが、打つ方ではクリーンナップを務めさせてもらい、沢山の事を学ぶことができたと思います。全国大会には出場できませんでしたが、いわきシニアリーグ時代には、野球の事を沢山指導していただき、また色々な経験もさせていただき、一回りも二回りも成長できたのではないかと思います。



高校は、明秀学園日立に進学をし、そこで金沢成奉監督との出会いがあり、監督によって私の中にある力を解放してもらい、今ある私に育ててくれたと思っております。今、高校三年間を振り返ってみますと、高校1年生の時は、なにもかもがダメで結果もなかなか出ませんでした。自分自身も一人一倍努力をし、練習に励みました。あつという間に一年が過ぎ、2年生になってからは、徐々に打席に立つても打てるようになってきたので、上級生に交じって試合にも出場できるようになりました。そして、最上級生の3年生となって臨んだ第98回全国高等学校野球選手権茨城県大会では、チーム一丸となって甲子園出場を目指して一戦一戦全力で戦ってきました。決勝戦は常総学院と対決することになりましたが、結果は1対0で惜敗しました。私自身はその後、色々な思いがめぐりとても苦しい日々が続きました。

しかし、今回、夢でもあ

るプロ野球選手になるためのドラフトに申請をし、その結果、ご縁があつて横浜DeNAに5位で指名していただいた時は心底嬉しさ一杯でした。また、その指名の瞬間は、学校の一室で校長先生をはじめ諸先生方、金沢監督や職員の皆様、そして同級生や後輩達も沢山いました。野球部以外の生徒もいてくれたのでとても嬉しかったです。そして、自分の事のように喜んでくれた仲間や学校の皆様と一緒にその瞬間を味わえたことも忘れられません。

横浜DeNAに指名されて感じていることは、両親と金沢監督、コーチの皆様への心からの感謝です。プロに入ったからには、まずは一軍に入れるように頑張りたいです。明秀学園日立で教えてもらったことを胸にしまい挑戦していきたいです。将来は、日本を代表する四番バッターになりたいと思っています。是非、これからも皆様に応援していただきたいと思っておりますので、宜しく願います。

同窓生お店紹介

同級生が経営するお店を紹介いたします。ぜひ、足を運んでみてください。

fanfare
BAR & MUSIC SPACE

☆ノーチャージ制でご利用いただけるカジュアルバー
☆なじみやすい雰囲気。お一人様でもお気軽に!!
☆提携農家からの季節野菜をご提供

営業時間：18：00～24：00
夜10時以降入店可、日曜営業
定休日：不定休
住所：茨城県水戸市南町3-3-30
グランディールオノセ2F
TEL：029-224-5618
HP：http://fanfare.upper.jp/

居酒屋 Bar 酒楽

営業時間：18：00～25：00
(L.O 24：30)
定休日：日曜日
住所：ひたちなか市表町3-12
TEL：029-272-4095

カフェレストラン マルサーラ

海を眺めながらのひととき…

営業時間：11：30～15：00
18：00～21：00
定休日：火曜日
住所：茨城県北茨城市大津町五浦2-164
TEL：0293-46-1877

編集後記

私が本校の同窓会誌をまとめたのは卒業して間もない、14年前のことだったと記憶しています。そして、今回久しぶりに発行される同窓会誌を担当できました。思えば5年前、教員として母校で教鞭を執ることとなり、同窓会の皆様にお目にかかる機会が増えました。皆様には何かと、ご支援、ご協力をいただきましたが、そのたびに、母校の様子をお伝えできないかと思ってきました。

特に最近の10年間は、進学率が向上し難関大学への合格者も増えると同時に、伝統の女子バスケットボール部や、卓球部などの活躍に加え、サッカー部や野球部など男子の部活動も注目されるようになって参りました。昨年サッカー部が冬の選手権出場を決め、今年の正月、1回戦で名門四中工を破り2回戦進出を果たしたことが、この夏、野球部が惜しくも常総学院に破れたことは記憶に新しいかと思っております。また、本校で行われている様々な取り組みについても是非お知らせしたいところです。

今後ホームページやメルマガジン等を充実させるのと同時に、定期的な母校の情報をお知らせできますよう、頑張ってお知らせしたいと思います。